

## 病理診断科・病理部

### 1. スタッフ

科(部)長(兼)教授 森井 英一

その他、准教授1名、助教6名、医員8名、  
主任臨床検査技師1名、臨床検査技師6名、  
事務補佐員1名(兼任を含む。また助教は特任を含む)

### 2. 診療内容

従来本院では、病理部において病理組織診断、術中迅速診断および細胞診断を行ってきた。しかし病理診断が医行為であることから、近年では多くの医療機関が病理診断科を標榜するようになっており、また病理診断管理加算の適用要件の一つに病理診断科の標榜が挙げられているため、平成25年10月、病理診断科を標榜、設置するに至った。

病理診断科の設置以降は、病理部で院内から提出された検体の処理や標本作製などを行い、病理診断科で診断業務や病理解剖を行っている。

#### (1) 病理組織診断

生検材料、手術検体に関して、肉眼観察の後に必要な部分のサンプリングを行い、標本作製する。標本の顕微鏡観察により病理診断を行う。

#### (2) 術中迅速診断

手術中に提出される組織をもとに凍結切片を作製する。大まかな組織診断や断端の評価を迅速に行うことにより、手術方針や手術範囲の決定に寄与する。

#### (3) 細胞診断

尿や喀痰、擦過物、穿刺吸引物などの検体について、まず細胞検査士がスクリーニングし、最終的に細胞診専門医が診断を行う。

#### (4) 病理解剖

死亡した患者について、経過や直接死因、治療の適否などに疑問点が残る場合に臨床医から依頼され、病理解剖を行う。解剖ではほぼ全身の臓器を詳細に検索することで疑問を解明する。

### 3. 診療体制

当科・部の業務は、大学院医学系研究科病態病理学講座と一体で運用されている。本院は高度先進的な医療を行う医療機関であるため、それに対応する病理部門も各疾患に対する高度の専門知識を必要とする。そ

こで、病態病理学講座・病理診断科・病理部が総力を挙げて、臓器専門性に対応できる体制を構築している。

近年、遺伝子レベルでの検索が病理診断に必須である疾患も多く、分子病理学的なアプローチも導入して診断を行っている。

### 4. 診療実績

平成30年度の病理組織診断(表1、図1)は年間13,002件で、検体数は消化器内科、産科及び婦人科、消化器外科の順である。術中迅速診断(図2)は年間1,132件で、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科の順に多い。組織、迅速組織の件数は前年度からほぼ横ばいで増加している。細胞診断(図3)は11,437件で、産科及び婦人科からの依頼が約46%と最も多く、次いで泌尿器科、乳腺・内分泌外科の順となっている。

本院は臓器移植の活発な施設であるため、臓器移植関連の拒絶反応、各種感染症の合併についての診断が多いことが特徴である(図4)。剖検数(図5)は30件で、前年度よりも減少した。院内の科別では心臓血管外科が7件と最も多く、次いで泌尿器科が5件となっている。

表1 病理業務件数(平成30年度)

病理組織診断	13,002件
術中迅速診断	1,132件
細胞診断	11,437件
病理解剖	30件

図1 診療科別病理組織診断件数

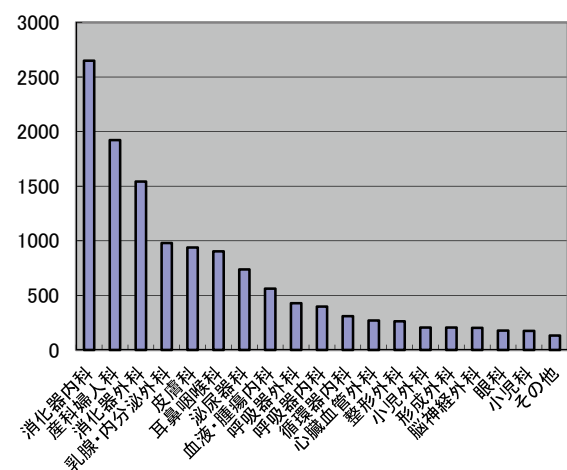


図 2 診療科別術中迅速診断件数

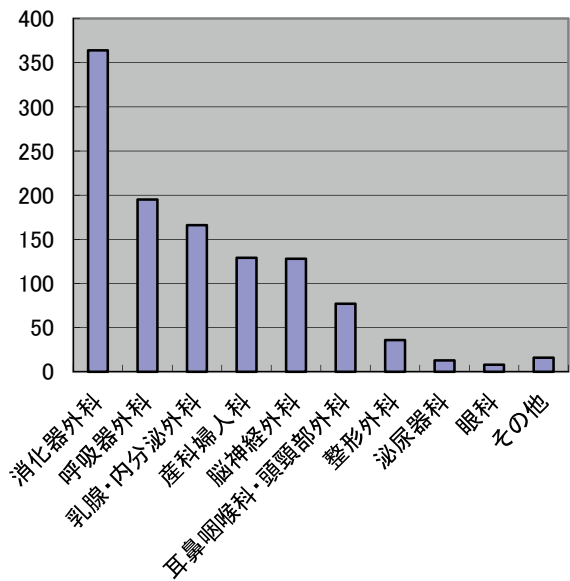


図 3 診療科別細胞診断件数

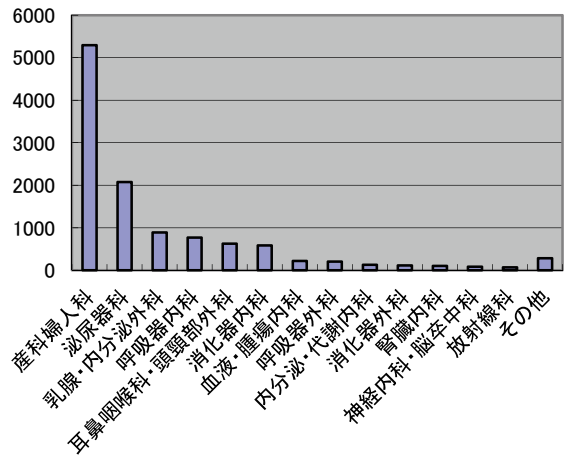


図 4 臓器移植関連病理診断件数

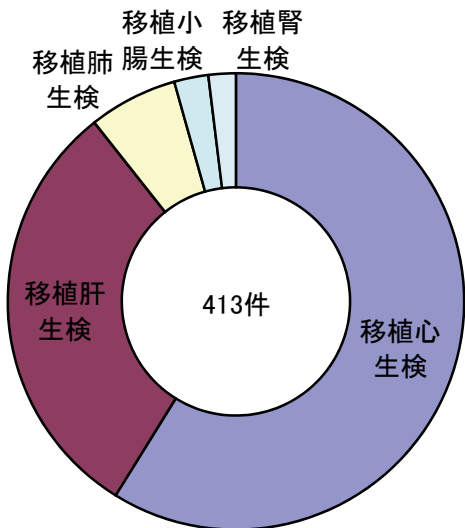
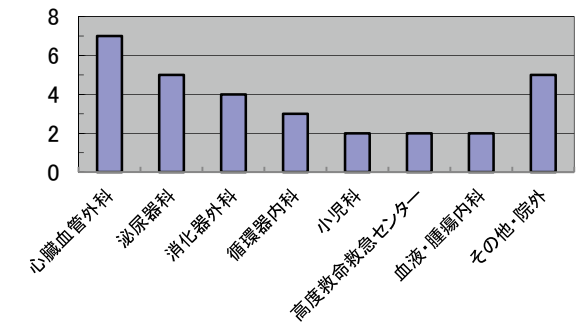


図 5 診療科別病理解剖件数



## 5. その他

当科・部には病理専門医が 12 人、細胞診専門医が 12 人、死体解剖資格保有者が 13 人所属しており、日本病理学会研修認定施設、日本臨床細胞学会認定施設である。教育面では医学科学生、保健学科学生、卒後臨床研修医の指導を行っている。

正確な病理診断は先進的医療技術開発の基本的なデータとなるものであり、臨床各科における高度先進医療の推進に貢献している。

臨床各科との連携の観点からは、病理解剖全例に対する CPC（臨床病理検討会）を行い、関係各科に情報をフィードバックしているほか、検討会やカンファレンスを頻繁に行い、スムーズな診断、治療につながるよう努めている（表 2、3）。また研究会も活発に行っており、大阪病理研究会、大阪病理 e ネットワークの事務局を担当している。

表 2 標本検討会

乳腺病理検討会・消化器病理検討会	月
皮膚科標本検討会	火
婦人科病理検討会・呼吸器外科病理検討会	水
病理解剖症例検討会(CPC)	水
泌尿器疾患検討会	木

表 3 臨床各科との合同カンファレンス

肝生検病理検討会	第 4 木
移植病理検討会(肺・肝臓・心臓)	不定期
ESD 病理検討会	第 4 月
血液腫瘍病理検討会	不定期
肝胆膵外科病理カンファレンス	水・3 週毎
整形外科病理検討会	水・4 週毎